

馨陽商業新報

廣告料一行廿錢
取扱主事 藤田光匡
兼編輯及 鈴木禎亮
印刷所 株式會社平活版所
發行所 馨陽商業新報社

日本帝國を護れ

不逞學者赤化教授を
全國より一掃すべし

蓬田光匡

新聞が 生れるといふことは、子供が生れるといふことと同様に喜ぶべき傾向である、而して育兒の大切な如くに、新聞の歩むべき道、即ち成長の道程も亦大切である、親の指導教育が確立せず、不審放縱に墮せしむれば軌道を外して永久取返しのつかぬ不良兒童らしむる如く新聞も邪道に陥ると社會を毒し國家を誤る、現代の如く新聞の論調によつて社會思潮が左右さるゝ時に於て特に此の感が深い。

然らば、共産革命の行はるれば、われわれ無産者にとつて正に之れ棚から牡丹餅ほどの欣快事であり、狂喜の種であるけれども、あてあつたのは、千九百十七年十月迄であつたこと、ロシア無産大衆が叫んだ如く、マルキシズムが、無産階級の味方では決してなく、結局に強權の下に人民を束縛し、探偵政治の下に無産大衆を壓迫して、資本主義にあらざるを悟りながら世界の無産階級を維持する能はざれば國家を維持する能はざるを悟りながら世界の無産階級を偽購するがため新經濟政策であるとか、新々經濟政策であるとかと稱して立派な帝國主義資本主義、資本主義に逆戻りした不逞者の上手い奴に正しいものは勘ない、と同様に、いはば、まことに口が上手だ、戦術も上手い、理論が徹底してゐる、淺薄な頭腦の所、有者等は皆んな引入れられざるを得ない、若し日本の無産階級諸君が、誤つて、彼等の徹底した理論や、戦術や上手な口車に乗つて、輕率妄動するやうなことがあつたらば、諸君は、ロシアの無學文盲な人民と擇ぶ所が無く、日露戦争に於ては日本現で勝ちながら今度はおぼこに思想を以てロシアに征服されることの結果を見なければならぬ、諸君は他日何の面目あつて地下に眠れるか親兄の靈に見ゆるぞ、と言はざるを得ないのだ。

マルクス 指導原理は無産大衆に取つて慥かにユートピアである、此の理論

然るに事實は、世界各國に於てマルキシズムは一場のユートピアに過ぎないとして排斥せられ、現時に於てはマルキシズムや、サンヂカリスト等々の主義等は、最も自由であるべきフランスに於てすら極度に迫害を受け、日本で大流行の「文化」といふ文字に對してすら主義等の使用文學だまされては嫌はれるものになつてゐる。又労働者の盛んなイギリスに於ては、労働者のいれが、日本の無産階級を率ゐてゐる連中が神様のやうに有難がつてゐるソビエツトロシア第三インター、ナショナルを國情に合はぬとして絶縁し眞面目な運動に従つてゐるではないか。

斯うして來て、われわれは識者に向つて切にユダヤ民族の研究を奨めたい、蓋し、現代の日本に流行してゐる思想の根元がユダヤ民族の研究によつて、ハツキリ判つて來るからだ、現代の日本には、現代思想を厳正公平な立場から批判した完全な書籍がない、皆現代思想禮讀の書籍ばかりで、讀むに堪へるものがない、斯んな不親切な學者や思想家ばかり蠢々してゐる、現代の日本は洵に不幸である、斯んな不見識な學者を國法の下に保護し、國費を給して奉つて置くのは、本國民には有難迷惑でたまらないのだ。

附記
本論を草した翌十一日の諸新聞紙上に共産黨事件の發表を見て現内閣のキビくした連口に暗々しくなつた。數日前東京の愛國の士より全國から労働黨員數千名検査されたが近く發表を見るであらうの通信を受けたが、就中官立學校卒業生が多いのを見て私は益々不逞學者、赤化教授の排撃を絶叫せざるを得ない、此の種の排撃に官費を給して赤化思想の研究(實は日本赤化陰謀計畫の幹部養成)せしめつゝあるか如きは怪しからぬ、下の徒輩よりも先づ官立大學の赤化博士、教授の輩を徹底的に撲滅し掃蕩することが何よりも先決問題であるのだ、須らく根元を刈取るべし、之れ日本帝國を護る唯一の道であるのだ。

社告
本紙は創刊當時聲明せる如く從來主に商業家の宣傳機關として請所時事問題には一切れず觸主義に基き眞面目な、商店紹介等を目標として編輯せんが、斯くては時代の要求に應じ各位の御期待に添ふ所以ならざるを知り、本號より斷然編輯振りを改革し、一般新聞紙同

馨陽商業新報社
室扶斯の流行
天候不順の爲か過般郡内各所に天然痘の發生があつた之が豫防策として全町を揚げて逸早く平町にては強制豫防注射を施したる結果併發を防ぎ全く安堵したるに及今回は腸室扶斯の續出避病院入院患者は何十を以て數ふ有様を以て今回町當局にては醫師會と相談の未申込者に限り腸室扶斯豫防注射を無料にて行ふ等希望者は各居住衛生係に申込み此豫防注射を受けて安心を取られよ

齒科
醫院
院長 森合芳男
町本町田植

茶卸小賣
小沼辰次郎
平町南町九五

石城郡銀行組合
磐城銀行
平銀
磐越銀行
磐城實業銀行
東銀
四倉銀行
第七十七銀行平支店
第七十七銀行平支店
福島縣農工銀行平支店
常磐銀行出張所

良品格安の
買へ良き店
仙臺屋吳服店
平町一丁目 電話一七七番

見るからに心地よき新柄お花見の御仕度は是非弊店陳列場へ
三井吳服店
平町三三番
電話三三八番

銘酒 稻妻
石城郡植田町 古川酒造店

病める人!

大靈道靈子術と 病氣治療に就いて

既報の如く先般平町中町十腎臓病なりしが數回の施術
三番地に設置されたる東京にて此れ又経過良好なり、
太靈道本院石城支部に於て其の他、輕症のものは二三
は其の後成績頗る良好にし回の施術にて、重症と謂も
て、あらゆる醫者に見離さし十回以上の施術にて、いづれ
れたる難病者又は先天的腦も相當の効果を修めつゝあ
の發育不全等の疾病が數回、

太靈道の目的は、人類の思
の施術に依つて全治もしく
は経過良好等のもの枚舉に
想を統一し普く萬衆をして
暇なき程であるが一般に本
部に治療を乞ふものは醫
者、藥、神佛に全く見離な
されたる慢性の病者等が大
部分を占め一二回の施術に
ては仲々治療の目的を達す
るを得ず少くとも數回の施
術を経ざれば奏効は難きも
の如し、然れども太靈道
支部は全然治療の見込なき
盲者、啞者等も全治するな
ごと大山師的の宣傳廣告を
なす一時的の金もつけ主義
にあらず、どこまでも責任
を重んじて所期の目的を達
せしむるを以て本領とな
す、誠みに最近治療を受け
て経過良好なる、患者を舉
ぐれば左の如し、平町十五
丁目佐藤某は十數年來の神
經痛にして全く醫藥に見離
されたものであつたが本
部にて、未だ數回の施術な
るも経過頗る良好なり、飯
野村山野邊某と言ふ十才の
小供は天性腦の發育不全に
して言語全然不明なりしが
七八回の施術にて経過良好
なり、南町服部某は慢性の

寄稿歓迎

遠なる靈子術によつて如何
なる難病と謂も必ず治療す
るものであつて其の最適應
症を舉ぐれば左の如し、
癩病、神經衰弱、精神病、
胃腸病、肺病、肋膜炎、
心臓病、腎臓病、肝臓
病、熱病、脚氣、喘
息、疝氣、齒痛、皮膚病、
腫物、其の他一般惡癖等に
對して慢性の諸病にて困難を
感ずるものは一日も早く天
の福音に浴さるべし

各部分品并自動車
各種のタイヤール・中袋
ガソリン・オイル・中袋
自動車・并・モーター・油
タイヤール・中袋修理
目品業營

平町停車場前 電話六一一番
平サービステーション

煙草、砂糖、鹽、荒物雜貨
米穀 商會 吉田卯三郎商店
木炭 平町播磨小路菊地自動車部隣

平活版所
電話三〇二番

磐城無盡商會
會長 小宅嘉久治

吉書 清光堂本店
平町二丁目九番地
電話一三一三番
振替五三八八番

明雲堂眼科醫院
平町停車場前
電話六六九番

株式會社平活版所
植田支店
電話一〇五番

萩原齒科醫院
院長 萩原義雄
石城郡平町南町 電話二五九番

御用命の際は(電四一一)へ多少遠近に
拘はらず迅速に配達致します
和醬油
平町外平窪(電話四一一番)
醸造元 和草野屋本店

荒物 卸商 松崎長三郎
福島縣平町新川町
電話一七二番
振替一五九九

銘酒 白馬の雪
釀造元 辰の口本家
松本徳一

紙問屋 坂本紙店
平町一丁目
電話一八番

既製品 洋服各種 在庫豊富
磐城平町二丁目
あかや洋服店
電話二〇三番

二本松電氣 株式會社
小名濱支店
福島縣石城郡小名濱町

福島縣平町 山崎合名會社
電話(營業部)一〇番
電話(醸造工場)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂町四三

東京支店
電話淺草五七二八番
振替東京六八三二二番

磐城セメント 特約 販賣店
和洋金物問屋
平町 電話九番
電話一三九番
平町 電話一三九番